

仙台市若林障害者福祉センター

障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました

令和元年6月19日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和元年6月19日（火）、仙台市立六郷小学校体育館にて、障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました。

六郷小学校4年生113名の児童に対して、白杖体験と車いす体験の二つの体験と、講師としてT様（自立訓練卒業者の視覚障害者）に協力をいただき、障害者の普段の生活についての話や児童たちからの質問に答えていただきました。

質問では「車椅子の人はどうやって高いところに行くのですか」、「階段やエスカレーターはどうやって上るのですか」、「目が見えなくて一番大変なことはなんですか」など様々な質問がありました。

今回の体験教室を通して、「車椅子を運転することや、段差を超える大変さがわかりました」、「白杖や盲導犬をつれて歩いている人がいたら声を掛けたり助けたいと思った」などの感想が聞かれたことから、児童たちにとって障害理解の促進と豊かな感性を育むよい時間となったと思われました。

